

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス88 Kiyosu					公表日	2026年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・活動エリアが区切られている。 ・体を動かすスペースを広く確保している。	・今後も、法令で定められているスペースと人員を遵守し、支援室のスペース確保を行っていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・利用者様の特性に合った専門職員を配置している。 ・人員基準を順守して配置している。	・職員数を増やし、支援の充実につなげる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・図や表などを活用してわかりやすく提示している。	・それぞれの利用者様に合わせた支援環境を作っていく。 ・利用者様が安心して活動が出来るように柵や机の角にコーナーガードを取り付ける。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・日々利用者様の帰った後に掃除をしている。 ・定期的に、柵の下まで掃除をしている。	・日ごろから整理整頓を心掛けていく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・クールダウンできるスペースを確保している。	・利用者様が安心できる環境を整えていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・毎日朝礼、終礼と月に一回以上会議をし、PDCA サイクルを回して業務改善につなげている。	・必要に応じて全職員で会議を開き、意見交換を行っていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・年に一回のアンケートを行っている。 ・送迎時やモニタリング時などに保護者様と話をし意向を伺い、業務改善に努めている。	・定期的にアンケートを取り、保護者様から意見を頂いていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・月例会議やイベント会議など職員の意見を話し合う場を設け、業務改善に繋げている。	・改善点があった場合は、優先順位をきめて順次改善に努めていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	・現状は第三者による外部評価を行っていない。	・今後、必要に応じて第三者による外部評価を行っていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・各職員の年齢や資格・経験年数に応じた研修の受講を行っている。	・積極的に外部研修も取り入れていく。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・支援プログラムはHPIに公表している。 ・毎月の活動もSNS等で公表している。	・今後も利用者様に合わせたプログラムを考えて行っていく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・毎年、アセスメントシートの更新をもとに、放課後等デイサービス計画を作成している。	・定期的にモニタリングを実施し、利用者様や保護者様のニーズや課題を客観的に把握し、放課後等デイサービス計画を立てていく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・利用者様に適切な支援を行えるよう全職員で支援会議をしている。	・今後も定期的に支援会議を行っていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・放課後等デイサービス計画の内容を全職員で共有して計画に沿った支援を行っている。	・定期的に計画に沿った支援が行われているか確認し、必要に応じて更新していく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・専用のフォーマットを使用して、日々の利用者様の様子を記録している。	・フォーマットのブラッシュアップを行い、今後も継続して利用者様の様子を記録していく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・放課後等デイサービスのガイドラインに沿って、利用者様への支援に必要な項目が適切に設定されている。	・「移行支援」「地域支援・地域連携」について、より具体的に設定していく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・毎月イベント考案と会議を行い、活動プログラムを計画している。	・今後も、活動プログラムを職員全員で計画していく。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・イベント担当を変えて、内容が固定化しないようにしている。	・今後は利用者様や保護者様の意見も取り入れ検討していく。		

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・利用者様の特性に合わせた放課後等デイサービス計画を立てている。	・利用者様の特性に合わせた活動を組み合わせ、状況に応じて更新ができるよう放課後等デイサービス計画を作成していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝礼時に当日の活動内容を全職員で共有している。 ・活動内容を利用者様や職員にもわかるようにホワイトボードに掲示している。	・共有の多い活動時には、当日だけではなく事前に活動の内容等の確認をおこない、共有していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・終礼時に振り返りや共有事項などを話し合い、記録に残して今後に繋げている。	・週初めに前週の共有事項等を再度確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・終礼時に日々の支援や活動の様子を話し合い、気付いた事や修正点、改善点があれば都度改善していく。	・支援や活動の内容を検討、改善する機会をもっと増やしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・計画の内容について、保護者様に分かりやすいようにかみ砕いて説明している。	・保護者様とのモニタリング後に職員間で共有する機会を増やしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・ガイドラインに沿って、利用者様に合わせた支援を組み合わせて実施している。	・外出イベントを通じて地域交流する機会を増やしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・イベントや声掛けなどで自己決定力を育む支援を行っている。	・定期的に職員へ研修を行い、支援の質向上を図っていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・開所したばかりでまだ回数こそ少ないが、会議には該当の利用者様の状況を良く理解した者が参画している。	・全職員が参画できるよう、利用者様の状況を常に職員間で共有していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・地域の関係機関といつでも連携が取れる体制を整えている。	・今後も地域の関係機関との連携を強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校との情報共有、連絡調整は適切に行っている。	・学校との連携が強化できるように日々関係性を構築していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・利用者様の就学前に利用していた園や児童発達支援の事業所とは必要に応じて情報共有し、相互理解に努めている。	・今後も関係機関と情報共有がし合える関係性を構築し相互理解を深めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・今のところ放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者様はまだいないが体制はできている。	・今後は移行する利用者様を想定して、事前流れや支援方法を把握しておく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・児童発達支援センターとの連携を図り、助言等を受ける機会を設けている。	・今後も必要に応じて助言等を受けられるように体制を整えていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・地域のイベントに参加をしたが、地域の児童クラブや児童館との交流はまだ実施できていない。	・今後は地域の他の子どもたちとの交流を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		・定期的に地域の児童部会に参加している。	・今後も継続して地域の児童部会に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時などに保護者様と情報を共有し共通理解を持っている。	・今後も保護者様と共通理解を持てるよう情報共有していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・必要に応じて保護者様への支援を提供している。	・今後は保護者様も参加できる研修の機会を検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に各種内容をしっかりと伝えている。	・今後も丁寧な説明を継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・契約時やモニタリング時に保護者様と現状の様子や思いなどをしっかりと確認している。	・利用者様の最善の利益を最優先に考え、必要に応じて会議で話し合っていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・毎回、支援計画の内容は保護者様にしっかり説明を行い、同意を得ている。	・説明する際には専門用語は使わず分かりやすい言葉で伝えていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・家族支援や送迎時に、必要に応じて助言と支援を行っている。	・悩みを相談しやすい環境や関係性を構築していく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・現状、保護者様同士やご兄弟様同士の交流する機会を設けていない。	・今後、ご要望が多い場合は、保護者様やご兄弟様同士が参加できるイベントを検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・相談や申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応している。	・今後も継続して対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・HP、SNSを活用して活動内容等を発信している。	・HPやSNSを用いて定期的な発信を行っている。 ・今後も利用者様の様子や行事内容を分かりやすく発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報の取扱いについて、十分に留意している。	・今後も個人情報の漏洩を防ぐためにセキュリティを強化していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・意思疎通や情報伝達のため、利用者様や保護者様に合わせた対応をしている。	・今後も利用者様や保護者様に合わせた対応を継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・現状はまだ地域との交流は実施出来ていない。	・今後は地域との交流するイベントを検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・契約時に保護者様に各種マニュアル等を説明を行い周知している。 ・職員には定期的に研修や訓練を実施している。	・今後も保護者様へ各種マニュアルの周知や職員への研修、訓練を継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的にBCP研修や訓練を実施し、必要に応じて都度更新している。	・研修や訓練を強化し、災害発生時に適切な対応が取れるようにしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・契約時にアセスメントシートを使用し保護者様から共有を受け、毎年年度初めに情報を更新し利用者様の状況を確認している。	・利用者様の服薬や予防接種、てんかん発作等の情報をすぐに確認ができるように専用ファイルを作成していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・利用者様のアレルギーの情報を全職員で共有し、医師の指示書に基づく対応をしている。	・今後も利用者様のアレルギー情報を共有し対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・定期的に研修や訓練を行い、毎週、施設内の設備の安全チェックも行っている。	・今後も定期的に研修や訓練を継続していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・安全計画を策定して、契約時に保護者様へ周知している。	・今後も利用者様の安全確保のために安全計画を更新し周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・日々の終礼時に共有し、ヒヤリハットが発生した場合は再発防止に向けて話し合いを行い対策している。	・他事業所で発生したヒヤリハット事例を会議で話し合い対策を検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・定期的に研修、訓練を行い、毎月セルフチェックを実施し、虐待防止に繋げている。	・職員への研修の機会を増やし、虐待防止への職員の意識付けを強化していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時やモニタリング時に保護者様に説明し、了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載している。	・出来るだけ身体拘束が必要な場面を無くしていく。	